

第三回 5月19日(木) : アフリカ

- 赤道直下の熱帯
- ワイルドライフ
- 人のいないところに人は住めない

受講者の声 :

—ヒトのいないところにヒトは住めない—

当たり前のようになんとなく実感が伴いにくい言葉である。しかし、一盛先生の野生テント生活のエピソードを聞けば、それは一発で理解できるはずだ。アフリカの夜、漆黒の闇の中、就寝しようとするテントの内外には何者がいるかわからないのだ。当然、娯楽も何もないので、同僚との話題も尽きてしまうのである。まさに、フィジカルとメンタルの両面に迫る恐怖の連続であろう。ちょっと想像するだけでも背筋が凍る思いである。

—自分がどこに立って発言をするのか—

一盛先生がこの塾で繰り返し強調されていた言葉だ。25億円の予算を見込む蚊の駆除プロジェクトの裏では、35億円の水田を整備するプロジェクトが進行していたという矛盾。世の中には、必ず正しいということはない。同じ物事を見たときに、それぞれの人々の立場によってその解釈は大きく異なる。それゆえ、自分の確固たる思考軸を持ち、「何をどの立場から発言するか」がいかに重要であるかを考えさせられた。さて、私は何を軸として生きて行こうか…。